※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	高等学校　化学　（第一学習社）						
副教材等	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）、スクエア最新図説化学（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「物質に親しみ、見通しをもって学習、実験などを行い、問題解決の能力と物質を探求する心情を育てる」。１年での化学基礎の学習を終えて、人と物質について「物質の状態」、「無機物質」という３つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生活し、行動すれば人と自然を大切にし、豊かな生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、考え学び続けてください。

2　学習の到達目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 日常生活と社会との関連を図りながら、物資とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 観察実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活と社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・原則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化に主体的にかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間まで	物質の状態・物質とエネルギー	物質の三態 気体の性質 固体の構造 溶液の性質 電池と電気分解	a:物質の状態、気体の法則、溶液の性質、結晶構造について理解している。酸化還元と電池の関係を理解している。 b:　気体の状態を決めるのは温度・圧力・体積であることを理解し、状態変化について考察する。溶液になったときに起こる沸点、凝固点の変化について考察する。電池と電気分解の構造を把握し、社会で利用される電池の仕組みについて考察する。 c:日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験
後期期末まで	無機物質	周期表と元素 非金属元素の単体と化合物 典型金属元素の単体と化合物 遷移元素の単体と化合物 金属イオンの分離と確認	a:無機物質に関心を持ち周期表について理解している。 b:無機物質の特徴、反応性を理解し用途を考察できる。 c:日常生活や社会との関連を図りながら、物質について考察できる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度